

## 外傷サーベイランス委員会会議録

会議体の名称	第9回外傷サーベイランス委員会
事務局(担当課)	セーフコミュニティ推進室
開催日時	2015年3月16日(月) 18時～19時30分
開催場所	豊島区民センター第2会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校管理下における外傷サーベイランスデータについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・区立小中学校における通院を要するけが・事故の発生</li> <li>・学校管理下における外傷サーベイランスデータ等分析業務報告書</li> </ul> </li> <li>2. 子どものけが・事故予防について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 成果指標の確認</li> <li>(2) 子ども事故予防センターの周知</li> <li>(3) 子育てひろばでの取り組み</li> </ul> </li> <li>3. 障害者の安全について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 成果指標の確認</li> <li>(2) まち歩き調査</li> </ul> </li> </ol>
出席者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 市川 政雄</li> <li>2. 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 富尾 淳</li> <li>3. 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 白石 陽子</li> <li>4. 池袋警察署生活安全課長 戸松 弘治郎</li> <li>5. 豊島消防署警防課長 小久保 文正</li> <li>6. 豊島区池袋保健所長 原田 美江子</li> <li>7. 豊島区セーフコミュニティ推進室長 齊藤 雅人</li> <li>8. 豊島区子ども課長 大須賀 裕子</li> <li>9. 豊島区長崎健康相談所長 松崎 恵</li> <li>10. 豊島区障害者福祉課長 森 真理子</li> </ol>
提出資料	<p>資料1 豊島区外傷サーベイランス委員会名簿(2014年11月現在)</p> <p>資料2 外傷サーベイランス委員会の役割</p> <p>資料3 SC活動におけるデータ収集の状況</p> <p>資料4 アウトリーチによる子ども虐待の予防</p> <p>資料5 高齢者の安全対策委員会資料</p> <p>参考資料 豊島区救急搬送データ分析報告書(平成25年分)</p>
議事要旨	<p><b>議題1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動によるけがはどんな運動でかがをしたのか見える化する方法があればよい。</li> <li>・ この報告書は現場の先生の負担にできるだけならないように簡便にした。項目を書き加えることもよいと思う。</li> <li>・ セーフスクールをやっているからこそ均一化する必要がある。セーフ</li> </ul>

スクールやっている学校とやっていない学校の比較があればよい。

- ・ 転倒も何で転倒したのか、滑ったのかぶつかったのか、一度見てみるのも方法か。
- ・ 防げる事故と防げない事故がある。防げる事故を対策すれば事故は減っていく。

### 議題2

- ・ 保育園の不具合については、取り組みや改善割合もわかるとよい。
- ・ 見る知るモバイルは、アウトリーチしやすい。フェイスブック的に記入できたりするといいのでは。ゲーム感覚で遊べる仕組みになればいい。それを他の自治体に売るというのはいかがでしょうか。
- ・ 子ども事故予防センターは、知っていますか？という設問だけでなく、行ったことがありますか？という設問もあった方がいい。

### 議題3

- ・ 過去1年間外出時にけがの経験のある視覚障害者が20人程度ということであれば、どのような状況でけがをしたのかまで調査することで原因分析がしやすくなるのではないか。

閉会